

財政事情の公表

市の財政事情は、地方自治法の規定によって、毎年6月と12月の2回公表することになっております。

今回の財政公表は、12月公表の9月末現在のものでありますが、また本年は、旧市長の逝去によって9月に加藤新市長が就任したため、市としては、今回の財政公表には、前市長時代の市財政のしめくりをつけるとともに、これを受けついで新市長として、この際できる限り市財政の事情を率直に申し述べて、市民のみならず、今後のご協力を願いたいということから、多少過去にわたって、市政並びに市財政の事情を記述することになりました。

市財政の歩み

累年決算の状況

昭和三十年、合併の際における市財政の規模は、一般会計で四億四千万程度でしたが、昭和三十一年の決算では十四億と約三倍半に膨張しています。もちろんこれには、当時の川越市は、約一億円の赤字を抱えていました。この時の赤字は、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、

昭和三十年、合併の際における市財政の規模は、一般会計で四億四千万程度でしたが、昭和三十一年の決算では十四億と約三倍半に膨張しています。もちろんこれには、当時の川越市は、約一億円の赤字を抱えていました。この時の赤字は、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、

工場数・生産額

年度	工場数	生産額
30	708	61億円
35	753	123
37	740	187
38	855	249
39	828	265

赤字転落の原因は

昭和三十四年から三十八年に至る、第5次、建設5か年計画では、計十五億円の事業を計画していましたが、実際には七億円の二十億円の事業を行なっています。このほかにも、上下水道等特別会計中の投資的経費の増加、一般会計から特別会計に繰り出した経費で事業を行なっている場合は、これは実質的には、一般会計の投資

四十年度赤字と対策

更に膨張される大きな問題は、昭和四十年度の赤字の見込みであります。昭和四十年度の赤字の見込みは、前市長は「一任期中に赤字を解消する」ということになっていました。しかし、このように赤字の根本的解決策にはなりません。それは、市の赤字は減っても、一方、それと同額の借入金が必要になるからであります。

今後の財政基本

前市長から受けついで市財政の現状は、以上のとおりであります。しかも財政の基本財源である税収の伸びも、現在ではそれほど顕著化する見込みは、ありません。昭和四十一年度以降の予算の編成に当たっては、ある程度緊縮方針をとらざるを得ない実情にありそうです。

財政再建が急務

要するに、少なくとも現時点においては、市財政の立て直しをすることが切実な任務であります。そこで、私といたしましては、市財政を立て直しの目標をおおむね、三か年といたしまして、昭和四十一年度の財政運営について、も、相当な覚悟で事に当たりたいと考えているわけであります。

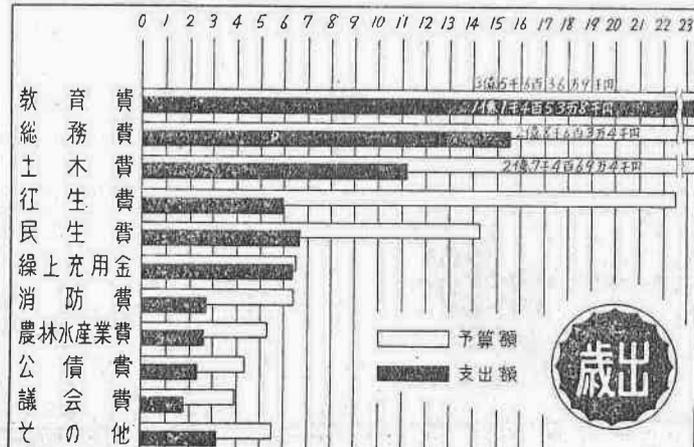
人件費を含む消費的経費

年度	金額
30	28,801万円
35	39,254
37	62,843
38	72,223
39	83,238

特別会計

会計別	予算額	収入済額	収入割合	支出済額	出合%
公園	3,034	930	30.6%	863	28.1%
国民健康保険	178,266	101,705	57.1%	81,845	45.9%
水道	257,200	79,849	31.0%	78,906	30.7%
下水道	4,917	1,028	20.9%	2,016	41.0%
衛生	154,657	18,305	11.8%	15,211	9.8%
公共用水	10,130	4,979	49.1%	4,681	46.2%
公共用水	755,481	768,102	101.7%	710,658	92.8%
公共用水	105,400	1,028	1.0%	8,487	8.0%
公共用水	12,400	494	4.0%	1,400	11.3%

予算に対する収入支出の状況(一般会計)



昭和39年度決算(見込)概況

会計別	予算額	収入済額	支出済額	収入差額
一般会計	1,516,437	1,396,846	1,458,635	△61,789
国民健康保険	191,798	183,185	180,799	2,386
下水道	147,102	147,592	139,506	8,086
衛生	9,400	9,468	9,330	138
公共財産造成	833,238	834,672	828,571	6,101
水道(収益的)	4,297	3,066	2,190	876
水道(資本的)	126,105	127,757	119,139	8,618
資本的	120,058	90,357	113,585	△23,228
簡易水道	19,088	17,784	18,048	△264

ないこともありません。何れにしても、現時点における市財政は、以上のように、底ももうけきつ時期に達しています。しかし市財政の前途につきましては、必ずしも悲観的ばかりではなく、一面明るい材料もいくつかあります。即ち、今後の税収の伸びが鈍化するであろうというよりも、その基には、市の発展と相まって、今後の相当自然増が期待されること。

財政規模の変遷

年度	人	出
30	38,089万円	43,030万円
35	65,750	64,253
37	113,458	109,772
38	127,527	130,696
39	133,685	145,804

昭和三十一年、合併の際における市財政の規模は、一般会計で四億四千万程度でしたが、昭和三十一年の決算では十四億と約三倍半に膨張しています。もちろんこれには、当時の川越市は、約一億円の赤字を抱えていました。この時の赤字は、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、

投資的経費

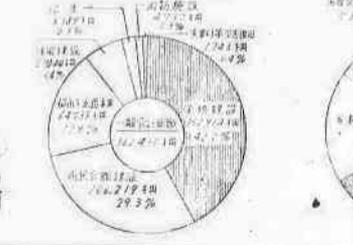
年度	金額	比率
30	3,697万円	8.4%
35	16,692	26.0%
37	37,955	34.6%
38	48,035	36.8%
39	46,578	31.9%

昭和三十一年、合併の際における市財政の規模は、一般会計で四億四千万程度でしたが、昭和三十一年の決算では十四億と約三倍半に膨張しています。もちろんこれには、当時の川越市は、約一億円の赤字を抱えていました。この時の赤字は、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、

昭和三十一年、合併の際における市財政の規模は、一般会計で四億四千万程度でしたが、昭和三十一年の決算では十四億と約三倍半に膨張しています。もちろんこれには、当時の川越市は、約一億円の赤字を抱えていました。この時の赤字は、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、

特別会計

会計別	予算額	収入済額	収入割合	支出済額	出合%
公園	3,034	930	30.6%	863	28.1%
国民健康保険	178,266	101,705	57.1%	81,845	45.9%
水道	257,200	79,849	31.0%	78,906	30.7%
下水道	4,917	1,028	20.9%	2,016	41.0%
衛生	154,657	18,305	11.8%	15,211	9.8%
公共用水	10,130	4,979	49.1%	4,681	46.2%
公共用水	755,481	768,102	101.7%	710,658	92.8%
公共用水	105,400	1,028	1.0%	8,487	8.0%
公共用水	12,400	494	4.0%	1,400	11.3%



昭和三十一年、合併の際における市財政の規模は、一般会計で四億四千万程度でしたが、昭和三十一年の決算では十四億と約三倍半に膨張しています。もちろんこれには、当時の川越市は、約一億円の赤字を抱えていました。この時の赤字は、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、一面、市民所得の増加、工場等の増設による増収が原因で、

食生活

お正月料理も、四、五日で
お正月料理も、四、五日で
お正月料理も、四、五日で



家事

お正月の年始が終わった
お正月の年始が終わった
お正月の年始が終わった

お正月の年始が終わった
お正月の年始が終わった
お正月の年始が終わった

保育園の申込受付

この四月から入園する園児
この四月から入園する園児
この四月から入園する園児



寺尾地区文化祭
寺尾地区文化祭
寺尾地区文化祭

愛の一声運動

第一地区青年
第一地区青年
第一地区青年

配給米の価格が変わる

一月一日から米の品目も改正
一月一日から米の品目も改正
一月一日から米の品目も改正

学児の健康診断

教育委員会は、こんど小学校
教育委員会は、こんど小学校
教育委員会は、こんど小学校

お買物は市内の商店で
お買物は市内の商店で
お買物は市内の商店で

移転就職者に
移転就職者に
移転就職者に

短針習会

川越市立図書館
川越市立図書館
川越市立図書館

経営指導員募集

川越市立図書館
川越市立図書館
川越市立図書館

一家の生活
一家の生活
一家の生活

国体へのボクにおきだす
国体へのボクにおきだす
国体へのボクにおきだす

上下水道工事
上下水道工事
上下水道工事

あなたの作品を
あなたの作品を
あなたの作品を

あなたを
あなたを
あなたを